

Saori Ikeuchi TIMES / no.016 / 2020.4.12 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
日本共産党
衆院東京12区
池内さおり事務所
〒115-0042
東京都北区志茂
2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

「暮らしへ直接支援を」新型コロナウイルスで都に要請

池内さおりさんは3月27日、谷川智行党東京都委員会コロナ対策本部長、衆院議員、都議らとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を小池百合子都知事に申し入れました。

一行は、休校・自粛要請で多くの事業者が深刻な打撃を受けているとして、「国と都が補償・直接支援を行ってこそ、自粛要請を実効あるものにできる」と強調。損失を受ける中小業者への休業補償、損失補てんを国に要請し、家賃・光熱水費などの直接助、税・社会保険料の納付猶予や減免を行うよう求めました。

また医療現場の実態改善と、患者の発生状況について市区町村の判断で情報発信ができるよう周知を求めました。



副知事(右から3人目)に要請する、(左から)宮本徹、笠井亮両衆院議員、池内さん、谷川本部長、藤田りょうこ、大山とも子両都議



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

憲法じゅうりん、森加計疑惑、桜を見る会：そもそも倒しておかねばならなかった行政私物化政権がいまだに君臨し、ウイルス対策に世紀の無策振りをさらしている。断じて看過できない！切実な声、届く政治を。全力で頑張る決意だ。

ベルリンのフリーランスは60万円支給され、イギリスは賃金の8割を補償し、フランスは全額休業補償、アメリカも14万円の現金給付、次々暮らしと営業を守る施策を打ち出した。日本政府！マスク2枚とはいかなる見か！

先日伺った豆腐屋さんでは、「うちのようには豆から豆腐を作る店が閉まると大豆屋さんも打撃を受ける。学校給食や飲食店からの注文も止まり不安」と。こうした声から思うのは、内需がどれほど日本経済を支えていたかということ。一つの豆腐も揚げさんも、人々の繋がりの中で食卓にのぼり、私たちの健康と味覚を支えてくれている。かけがえない繋がりを守りたい！

4月1日、安倍首相が布製のマスクをつけてテレビ画面にあらわれた。曰く「一世帯に2枚のマスクを配る」と。エイプリルフールのジョークであって欲しかった。当然、批判の声が吹き荒れた。

「マスク2枚」の冷酷さ、乗り越えよう

Column vol.16

色あざやかな社会へ

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

池内さおり トークタイム

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、4月の実施を見合わせます。



新型コロナ 関係者から聞き取り 「要望届けます」

小学校校長「休校中も受け入れ」

3月13日、池内さんはの山けん北区議とともに、区内の関係者を訪ねました。

ある小学校の校長は、「自宅で過ごせない児童を受け入れ、毎朝実際に登校した人数に応じて感染防止のため少人数に振り分けている」「適度な外遊びも取り入れ、児童のストレスが溜まらないよう配慮している」と話しました。

居酒屋店主「廃業、他人事じゃない」



店主の話聞く池内さんとの山区議

赤羽駅近くの居酒屋店主は、一年で最も売り上げの出る赤羽馬鹿祭りが中止になったと肩を落とし、「常連客に支えられてはいるが、売り上げは落ちている」「この状況が続けば廃業するしかない」と話しました。

池内さんは「皆さんの声を国政に届けます。一緒に生活を守りましょう」と話しました。

池内さんは「皆さんの声を国政に届けます。一緒に生活を守りましょう」と話しました。

北区民主商工会と懇談

池内さんは3月30日、曾根はじめ都議、の山、野口まさと両区議とともに、北区民商の中小業者の皆さんと懇談しました。

ある飲食店主は「客が激減。日銭が入ってこない」と家賃も払えない。国は助成をしてほしい」と語り、洋食店主は「平日昼間の客がゼロの日も。当面乗り切るため都の融資を受けたが、金利が高い。せめて無利子にしてほしい」と語るなど、切実な声が出されました。

池内さんらは「国は自粛と補償は一体で進めるべき」と強調、都に無利子融資を求めていくと話しました。



懇談する池内さん（左から二人目）

医療現場「コロナ対応に不安」



話を聞く池内さん（左から三人目）

池内さんは3月21日、北区の王子生協病院を訪れ、曾根都議、ながいともこ、せいの恵子両区議とともに、今泉貴雄院長らから新型コロナウイルスに関わる現状や要望を聞きました。

今泉院長は、肺炎の入院は個室にするなど従来以上の対応をせざるを得ないと説明。今後、感染者対応や院内感染などで病院機能停止の事態が起きれば、地域医療をどう守るのか、不安は大きいといいます。医療物資の不足が不安を助長しており、マスク、消毒液、ガウンなどの安定供給が不可欠だと強調しました。

池内さんらは、現場の声、要望を行政に届けていくと話しました。

政治と綱領改定を語る集い



参加者と語る池内さん（右）とさがら区議

池内さんは3月20日、北区のさがら区議地域の集いに参加し、10代から80代までの15人の方々と語り合いました。

池内さんは綱領改定のポイントを説明。また本予算に1円もコロナ対策費を計上しない安倍政権の姿勢を批判し、消費税5%減税と財政出動で国民の生活を守るべきだと話しました。

参加者からは生活の厳しさ、女性差別に苦しんだ経験など様々な声。質問には池内さん、さがら区議が丁寧に答え、新しい政治を実現しようと決意を固める場となりました。